

丹後農業を支える担い手育成活動を報告

当所と丹後農業改良普及センターでは、共通する課題や活動についての報告会を昨年から合同で開催しています。2回目となる今回は、「丹後農業を支える担い手育成を目指して」と題し、丹後農業実践型学舎にかかる活動を報告しました。

当日2月14日は、地元農業者をはじめ国営開発農地団地管理組合・営農組合長、関係JA、関係大学及び国・府・市の職員など約90名の参加者があり、当所職員や普及センター職員らによる5課題を報告しました。

参加者からは、「各報告は20分以内でまとまっており、内容もわかりやすかった」、「学舎修了生、技術指導、行政それぞれの立場からの報告を聞くことができて興味深かった」、「学舎修了生の話は実体験に基づいており説得力があった。現状を聞くことができて、今後の支援に繋がるヒントになった」などの声が聞かれ好評でした。

今後も当所と丹後農業改良普及センターでは、活動報告会を共同で開催していく予定です。



学舎の成果と課題などを報告



積極的に質問をする参加者